



代表取締役会長

貫正義

代表取締役社長

瓜生道明



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2016年度の業績につきましては、2016年熊本地震に伴う特別損失の計上はありましたが、グループ一体となって費用削減に取り組んだことや、川内原子力発電所の安定稼働などにより燃料費が減少したことなどから、2期連続の黒字となりました。

2017年度も、玄海原子力発電所の早期再稼働や事業活動全般にわたる徹底した効率化等に、グループを挙げて取り組み、収支の改善に努めてまいります。

当社といたしましては、「九州電力グループ中期経営方針」に掲げる「日本一のエネルギーサービスを提供する企業グループ」を目標として、電力の安定供給はもとより、多様なエネルギーサービスの提供、事業の基盤となる組織の強化や人材の育成などに取り組んでまいります。

この中期経営方針の実現にあたって、原子力発電所の安全・安定運転はとりわけ重要であり、「原子力の安全性・信頼性向上」に継続的に取り組む意識を、社員に脈々と受け継がれてきた安定供給への使命感である「九電DNA」と同様に、組織に根づかせてまいります。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年7月